

広告

企画・制作=日本経済新聞社
Nブランドスタジオ

松原 亜希子氏

三菱UFJフィナンシャル・グループ 執行役員 ウェルスマネジメントユニット長兼部長
ウェルスマネジメント戦略部長 / 三菱UFJ 執行役員 ウェルスマネジメント本部部長補佐
法人・リテール企画部 ウェルスマネジメント戦略部長

特別対談

中川 健氏

三菱UFJ国際投信
常務執行役員 商品マーケティング部副部長 兼 営業ライン長

資産運用で顧客の人生を支える

三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)では顧客資産を適切に総合管理する「ウェルスマネジメントサービス」をグループ一体で提供している。「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(WIF)」を銀行の資産運用商品の中核に据え、多様化する顧客ニーズに答えている。WIFの設定、運用開始から1年が経過。本対談ではグループの総合力を結集したウェルスマネジメントサービスの現状や今後の在り方が話題になった。

グループ一体の総合力を発揮

松原 MUFGは、2018年に各業態で提供してきたウェルスマネジメントサービスをグループ一体でのアプローチに変更、リブランディングをしました。その成果が徐々に出てきています。例えばウェルスマネジメントサービスを「個人」「ファミリー」「会社」の3軸で捉える機運がグループ内で広がってきました。これにより、お客さまの総資産を「まもり・つなぎ・ふやす」ための行動をグループ一体で取れるようになってきています。

中川 2005年10月のMUFG誕生時より5年後の2010年、私は銀行の支店長でしたが、当時もウェルスマネジメントサービスのニーズは強かったですね。しかし、当時は、法人のお取引がありながらも、ファミリーや個人にまでフォローが行き届いていなかったため、総資産を管理・保全することや次へつなぐことが十分にできていない状況でした。

松原 例えば企業オーナーは預金や自社株式、土地など、さまざまな資産を有しています。このようなお客さまの場合、事業承

継や相続などのニーズにも対応しなければなりません。当然、銀行だけではできないことに限界が出てきてしまう。こうしたなかで、グループの総合力を結集して対応することが急務になってきました。MUFGは銀行・信託銀行・証券会社のすべての業態を有し、総合提案できることが強み。グループの一体化が浸透してきたことで、MUFGならではの強みを生かして付加価値を提供できるようになってきています。

中川 こうしたなか、MUFGの資産運用会社である三菱UFJ国際投信では2021年5月25日に「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(WIF)」を設定、運用を開始しました。WIFはMUFGの名を冠したファンドであり、MUFGウェルスマネジメントとしての公式の投資見解であるハウスビュー「GMAP(Global Macro & Asset Allocation Perspectives)」を参照して中長期分散投資を行うもの。目標リスク水準が異なる3つのファンドとマネーパールの計4ファンドから構成されており、多様なお客さまのニーズに応えていく商品だと考えています。

松原 WIFは銀行のウェルスマネジメントサービスの中核ファンドとして着実に成長

してくれていますね。WIFの設計では関係各社のメンバーたちが集まり毎週ディスカッションを行い、ベクトルを合わせていきました。骨の折れる作業でしたが、GMAPという「幹」とそれを参照して運用するプロダクトができたのは本当に大きい。これがグループ一体化を着実に推進する力になっています。運用を開始してから1年が経過していますが、解約は非常に少なく、増額されるお客さまも多い。ぶれない「幹」のもとで選んでいたから、市場が不安定でも安心感を持って運用が続けられるのだと思います。

商品進化・人材育成で連携深める

松原 ウェルスマネジメントサービスは、従来の銀行のビジネスモデルとは一線を画すものです。それだけに現場・本部が一体となった意識改革が重要になってきます。お客さまの人生をお支えるパートナーとして何ができるだろうか。そういうマインドセットでなければなりません。三菱UFJ国際投信は資産運用に関する豊富な知見を有しています。商品面はもちろん、資産運用にまつわる理解をより深めるために人材育成

面でもご協力いただきたいと思います。

中川 MUFG、特に三菱UFJ銀行とはこれまで何度も意見交換をさせていただき、人材育成プログラムをともに作成してきた経緯もあります。これからも密に連携し、人材育成面でも貢献していきたいです。商品面ではWIFの進化を図ります。例えば資産を取り崩しながら受け取れる選択肢の用意や大胆な資産移転を実現するための機能付加などを検討していきます。ぜひ多くのお客さまにWIFをご紹介いただきたいと思います。

松原 それはとても心強いです。日本のウェルスマネジメントサービスのモデルケースとなるよう、さらに連携を深めていきたいと思います。

3つのPoint MUFG ウェルス・インサイト・ファンド (保守型) (標準型) (積極型)

- | | |
|---------|--------------------|
| Point_1 | 世界各国の幅広い資産へ分散投資 |
| Point_2 | お客さまのニーズに応える3つの選択肢 |
| Point_3 | GMAPレポートを参照 |

MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型) (標準型) (積極型) 追加型投信/内外/資産複合 (マネーパール) 追加型投信/国内/債券

＜投資リスク＞基準価額の変動要因:「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型) (標準型) (積極型)」の基準価額は、株式・リート市場の相場変動による組入株式・リートの価格変動、金利変動による組入公社債の価格変動、景気・為替・金利の変動や生産・需給関係・政治情勢変化等の特異要因によるコモディティの価格変動、非伝統的資産および非伝統的な運用手法における投資対象資産の相場変動によるオルタナティブ資産の価格変動、金利変動・株式・債券・リートおよびコモディティの価格変動等によるアリバティブ取引等の価格変動、原資産である株式・債券・リートおよび商品(コモディティ)の価格変動による株債指数先物・債券先物・リート指数先物および商品先物等の価格変動等、為替相場の変動等により上下します。また、格付けの低い債券へ投資する場合があります。格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(マネーパール)」の基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならず、したがって、投資者のみならずの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

＜ファンドの費用＞■購入時[購入手数料]購入価額に対して、上限1.10%(税込1.00%)※マネーパールはかかりません。■保有期間中[運用管理費用(信託報酬率)](保守型) (標準型) (積極型) 実質的な信託報酬率:年率1.2565%~1.2865%程度(税込)(2021年11月30日現在)各投資信託証券への投資比率が変動する可能性や投資信託証券の変更の可能性があることから、実質的な料率は変動します。したがって事前に固定の料率・上限額等を表示することはできません。※上場投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。(マネーパール)年率0.605%(税込)年率0.550%以内 [その他の費用・手数料] 監査費用・売買委託手数料・投資信託証券の諸費用や税金等ならびに換金に伴う信託財産留保額(マネーパールを除く各ファンド)・保管費用・その他信託事務処理の諸費用等(その他の費用・手数料は売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。)■換金時[信託財産留保額]ありません。※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

当広告は三菱UFJ国際投信が作成したものです。投資信託をご購入の際は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入しておりません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。販売会社は当社ホームページよりご確認いただけます。(2022年5月作成)

●設定・運用 三菱UFJ国際投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号 加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
フリーダイヤル0120-151034 (受付時間/営業日の9:00~17:00)
ホームページアドレス <https://www.am.mufug.jp/>

■設定・運用は


MUFG 三菱UFJ国際投信
